

キョウマルシャクナゲ	<i>Rhododendron japonoheptamerum</i> Kitam. var. <i>kyomaruense</i> (T.Yamaz.) Kitam.	絶滅危惧Ⅱ類
(環境省:絶滅危惧Ⅱ類)		ツツジ科
選定理由	生育地が極めて減少している。	写真(高橋弘)
形態の特徴	高さ2-5mの落葉性の低木。葉は革質、葉柄は長さ1-2.5cm、葉身は長楕円形、長さ5-12cm、幅1.5-3cm。枝の先に総状花序をつける。花冠が5裂、ときに6-7裂し、淡赤紫色。	
生態的特徴	冷温帯の岩場に生育する。花期は5-6月。	
分布状況	日本に固有で、東海地方に分布する。岐阜県では東部に見られる。	
減少要因	開発による生育地の破壊。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項		
参考文献		

文責:高橋弘